

2020年4月13日

「抗ウイルスコート剤」の開発について

イビデン株式会社(本社:岐阜県大垣市、代表取締役社長:青木武志)は、抗ウイルスメラミン化粧板の技術を応用し、「抗ウイルスコート剤」を開発しました。

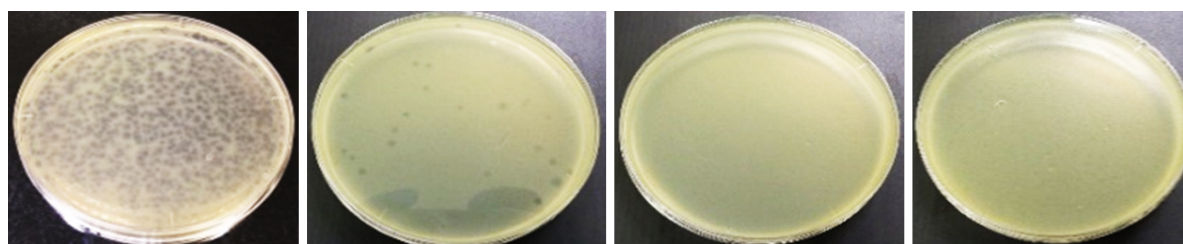
【開発の背景】

2019年1月に抗ウイルスメラミン化粧板「イビボードウィルヘル®」の改良品を発表後、食品施設、医療福祉施設、老健施設、学校教育施設など、さまざまな建築物の壁面材としてご採用頂いておりますが、新設およびリフォームへの採用に留まり、既設施設の感染リスク対策が課題となっておりました。そうした背景から、既設施設に施工でき、即時性・持続性・耐久性を兼ね備えた「抗ウイルスコート剤」を開発しました。既に、自社の複数施設に施工し、実証データを蓄積しております。

【商品の特徴】

- 暗所でも即時性・持続性がある(菌類を除き、4時間で99.9%のウイルスが不活化することを公的機関で確認)

[参考] 活性ウイルスの経過時間と減少率



0分後

5分後(90.0%)

15分後(99.9%以上)

30分後(99.9%以上)

※上記データは、社内試験用Qβファージウイルスを用いた測定値であり保証値ではありません。

[参考] 第三者機関における性能評価(菌類を除き、4時間で99.9%のウイルスが不活化)

ウイルス・菌名	測定機関	報告書・証明書 No	発行日
ネコ腸コロナウイルス	(一財)北里環境科学センター	2019_0441号	2020/03/06
インフルエンザウイルス	(一財)ニッセンケン品質評価センター	DTK19-01342	2019/06/18
ネコカリシウイルス	(同上)	DTK19-01344	2019/06/18
大腸菌(O-157)	(同上)	DTK18-03657	2018/09/19
黄色ブドウ球菌	(同上)	DTK18-03655	2018/09/19
サルモネラ菌	(同上)	DTK17-17629	2018/02/14

- 合板、金属、プラスチック、紙、繊維など幅広い製品に施工できる(基材表面を劣化させない)
- 耐久性がある(1回の施工で、約3年の拭き取り耐久あり)
- コート硬化物の安全性は確認済み(急性経口毒性・皮膚一次刺激性・皮膚感作性・変異原性について、(一財)日本食品分析センターで安全性評価を完了)

近年、感染リスクを減らす対策や食品衛生の危害リスク管理がますます求められています。当社グループでは、より安心安全な衛生空間の実現に向けて、技術開発に取り組んでまいります。

以上